

2023仙台市議選 立候補予定者 こども子育て政策に関するアンケート

回答者名【 かまた城行 】

立候補予定選挙区【 青葉区 】

問1. 仙台市では、保育所の空き定員等を活用した未就園児の定期的な預かりモデル事業を行っていますが、どのように評価していますか。

待機児童問題が全国的に叫ばれる中、本市においても待機解消を目指して施設拡充等に取り組みられてきた一方で、地域・ニーズのミスマッチ等で定員割れの施設が生じ、経営難に陥る事業所も出ております。こうした観点からは、施設の有効活用を促すうえで、評価されるものと思います。しかし一方で、子育て家庭のニーズにどれほど応えているか、これまでの利用実態を調査し、改善を重ねていく必要があると思います。

問2. 仙台市発達相談支援センター（アーチル）が、受付から相談対応まで最大4ヶ月かかることに対して、どのようにお考えですか。

当初の1施設体制の時代から改善を求めらる中で北部と南部の2施設体制に改変され一時は改善傾向が見られたものの、現在も相談対応までの待ち時間が尋常でない事態が続いています。各区に設置してはどうか、との意見を耳にしますが、人材の分散化による質の低下が心配されます。今一度、支援体制を再検討し、各機関との連携を図りながら、受付から初期相談までを待たせない仕組みづくりが急がれると思います。

問3. 厚生労働省は、インクルージョンを推進していく上では、児童発達支援と幼稚園・保育所等との併行通園を推奨していくことが重要としていますが、どのようにお考えですか。

子どもと保護者が安心できる対応が何よりも大切だと思います。児童発達支援と幼稚園・保育所等、各施設との細やかな連携が保護者の負担にならないように、繋ぎ役が必要だと思います。

問4. 仙台市には、障害のある子どもを保育園に預けたくても預けられず、就労を諦めている人が一定数おります。この現状についてどうお考えですか。

速やかに改善すべきだと思います。就労を諦める、というよりも、就労の機会を創っていただけるように、お子様とご家庭の日常に寄り添う相談体制を強化していく必要があると思います。

問5. 仙台市の医療的ケア児の保育所受入れ人数は100万人当たり4.6人で、政令指定都市20都市中17位です。この現状についてどうお考えですか。

現状を受けとめねばなりません。他都市と比較すべきは順位ではなく、ニーズに応えようとの姿勢が乏しいこと。結果的に市民へのサービスが図られていないこと。他都市に学び、改善する姿勢が必要だと思えます。

問6.その他、コメントあればお願いいたします。

全てを公的機関だけで賄おうとすることには無理があると思えます。民間の力を借りて、市民のニーズに応じていこう、との姿勢が行動に現れる日を願っています。

子ども達のために、日本を変える
Florence